PN J613-M3518-03 Rev.A 000825

PCI-TXB

取扱説明書・Windows®2000編

http://www.corega.co.jp/

この度は、「corega PCI-TXB」LANアダプター（以下、本製品）をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

この取扱説明書は、本製品をWindows 2000のもとで正しくご利用いただくための手引きです。ハードウェアの設定などは、本製品に付属の取扱説明書＜Windows98編＞をご覧ください。

また、以下に挙げた例は一例であり、お客様の環境によっては、手順や表示画面が異なることがありますことをご了承ください。

目次

1 ドライバーのインストール 1
1.1 用意するもの 1
1.2 新規インストール 1
2 ネットワークとドライバーの設定 4
2.1 ネットワークの設定 4
2.2 ドライバーの設定 4
3 ドライバーの更新 4
4 ドライバーの再インストール 5
5 本製品を一時的に使用しないとき 5
6 ドライバーのトラブル 5
6.1 本製品を認識しない 5
6.2 「近くのコンピュータ」が表示されない 6
6.3 ご使用コンピュータの確認 6
6.4 その他 6

1 ドライバーのインストール

アップデートインストールについて

注意 Windows2000をWindows95/98からアップデートインストールされる場合は、本製品のドライバーを削除し、本製品をパソコンから取り外した状態でアップデートインストールしてください。

1.1 用意するもの

- PCI-TXB本体、UTPケーブルなど
- コンピュータ（Windows 2000インストール済み）
- PCI-TXBドライバーディスク（本製品に付属）

注意 ハードディスク内のデータは、必ずフロッピーディスク等にバックアップをとった後で、ドライバーのインストールを開始してください。特に重要なデータについては、必ずバックアップをとられることをお勧めします。
また、いかなる場合でも、データが消失または破損したことによる損害については、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

1.2 新規インストール

本製品のドライバーをWindows 2000に新規インストールする手順を説明します。

注意 以下の手順を実行するには、Administratorsグループ所属のユーザー名でログオンしてください。

1. 本製品をコンピュータの拡張スロットに取り付けた状態で、コンピュータの電源をオンにし、Windows 2000を起動してください。

2. Windows 2000は、起動時に本製品を自動検出し、「Realtek RTL8139(A)-based PCI Fast Ethernet Adapter」ドライバーを自動的にインストールします。このときダイアログ等は表示されません。

3. 「Realtek RTL8139(A)-based」のドライバーを「PCI-TXB」のドライバーに更新します。手順は次のとおりです。

4. 「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」の「システム」をダブルクリックしてください。

図1.2-1 「コントロールパネル」-「システム」アイコン

5. 「ハードウェア」タブを選択し、「デバイスマネージャ」をクリックします。

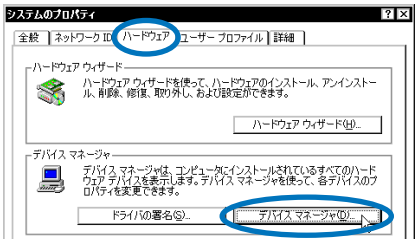

図 1.2-2　システム「ハードウェア」タブ

6. 「Realtek RTL8139(A)-based PCI Fast Ethernet Adapter」をダブルクリックしてください。

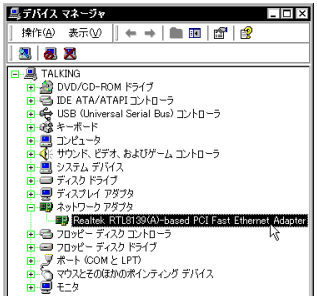

図 1.2-3　デバイスマネージャ

7. 「ドライバ」タブを選択し、「ドライバの更新」をクリックします。

図 1.2-4 「ドライバの更新」ボタン

8. 「デバイスドライバのアップグレード ウィザード」が表示されます。「次へ」をクリックしてください。

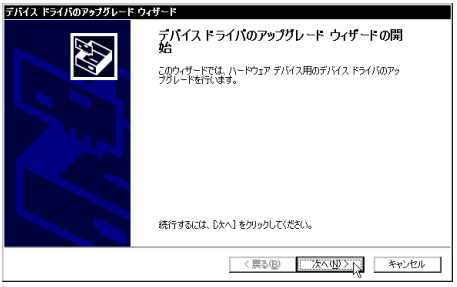

図 1.2-5　デバイスドライバのアップグレード ウィザード

9. 「このデバイスの既知のドライバを表示して、その一覧から選択する」を選択し、「次へ」をクリックします。

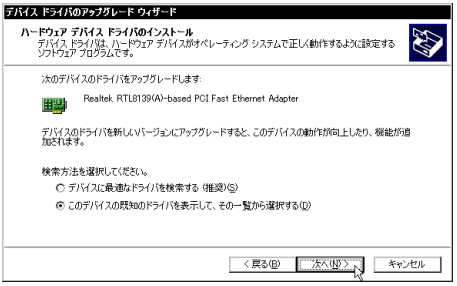

図 1.2-6　検索方法の選択

10. 「ディスク使用」をクリックします。

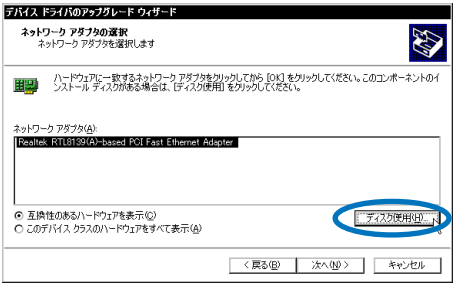

図 1.2-7

11. 本製品付属のドライバーディスクをフロッピーディスクドライブに入れ、「製造元のファイルのコピー元」に「A:\win2000」と入力して、「OK」をクリックします。

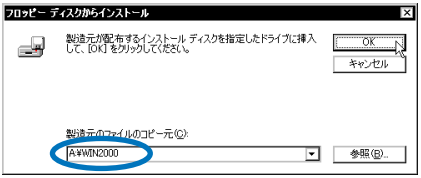

図 1.2-8　ドライバーの所在の指定

12.「corega PCI-TXB Ethernet Adapter」を選択し、「次へ」をクリックします。

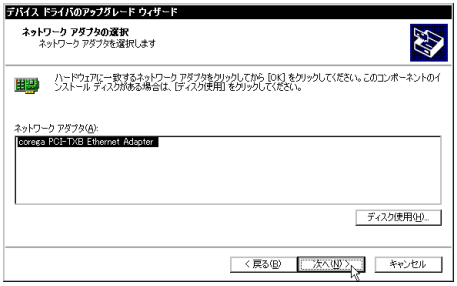

図 1.2-9

13. 次のダイアログで、ドライバーの名称が「corega PCI-TXB Ethernet Adapter」となっていることを確認し、「次へ」をクリックしてください。

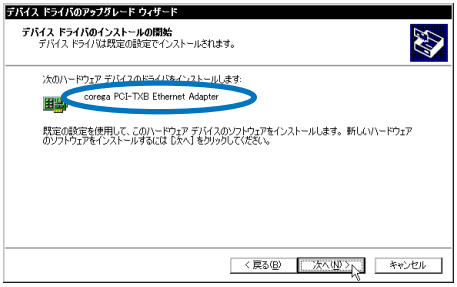

図 1.2-10 ドライバー名の確認

14. 次のようなダイアログが表示された場合は「はい」をクリックします。Microsoft デジタル署名はありませんが、本製品は正常に動作します。

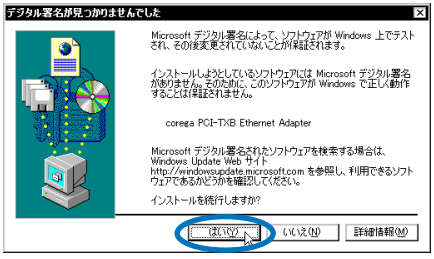

図 1.2-11 デジタル署名の確認

15.「完了」をクリックします。

図 1.2-12 インストールの完了

16.「閉じる」をクリックしてください。

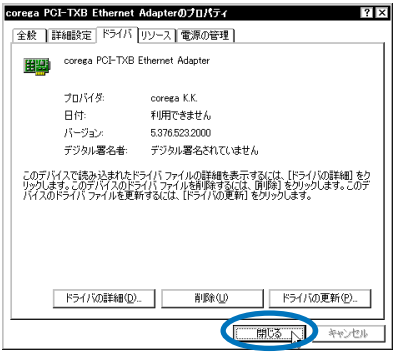

図 1.2-13

17. デバイスマネージャで「corega PCI-TXB Ethernet Adapter」に「!」や「?」が付いていないことを確認して、ウィンドウを閉じてください。※1

図 1.2-14 デバイスマネージャ

18. 以上でドライバーのインストールは終了です。引き続き「2 ネットワークとドライバーの設定」にお進みください。

※1. **本製品のアイコンに「!」「?」などのマークが付いていたり、あるいはアイコンが「ネットワークアダプタ」の下ではなく、「不明なデバイス」や「その他のデバイス」の下にある場合は、インストールに失敗しています。詳しくは、「6.1 本製品を認識しない」をご覧ください。**

2 ネットワークとドライバーの設定

ドライバーのインストールが正常に行われていることを確認したら、ネットワークとドライバーの設定を行います。

2.1 ネットワークの設定

「コントロールパネル」の「ネットワークとダイヤルアップ接続」で、使用するプロトコル、クライアントなどの設定を行います。インターネットへのアクセスを行うためには(WWWブラウザーなどをご使用になるためには)、TCP/IP プロトコルが必須です。ネットワーク接続の設定に関しては、取扱説明書＜ Windows98 編＞の「5 ネットワークの設定」(p.33)」を参照してください。設定に関する詳細は、お客様の環境におけるシステム管理者にご相談ください。

2.2 ドライバーの設定

ここでは、本製品のネットワーク通信モードに関する設定を行います。

1. 「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」の「システム」をダブルクリックしてください。「ハードウェア」タブを選択し、「デバイスマネージャ」をクリックします（図 1.2-2)。

2. 「ネットワークアダプタ」の下の「corega PCI-TXB Ethernet Adapter」をダブルクリックし、「詳細設定」タブを選択して、ネットワーク通信モードの設定を行います。「値（V）」リストからご使用の環境に合ったものを選択し、「OK」をクリックしてください。詳細はシステム管理者にご確認ください。

図 2.2-1　詳細設定タブ

各項目の意味は以下の通りです。

APM Mode WakeUp

デフォルトは「Disable」です。この値は、デフォルト値のままお使い頂くことを推奨いたします。

Early Tx Threshold

デフォルトは「38」です。この値は、デフォルト値のままお使い頂くことを推奨いたします。

Link Speed/Duplex Mode

- Auto Mode（デフォルト）

  Auto-negotiation を有効（Enable）に設定します。この項目を選択した場合、接続先機器の仕様によって動作は以下のように変わりますのでご注意ください。

  接続先機器が Auto-negotiation をサポートしている場合

  可能な最高の速度（100/10 Mbps）およびモード（Full/Half duplex）となります。

  接続先機器が Auto-negotiation をサポートしていない場合

  接続先機器（ハブなど）が Auto-negotiation 機能をサポートしていない場合にこの「Auto Mode」を選択すると、ネットワークメディアは通信速度（100/10 Mbps）のみ自動的に検出し、検出された速度の Half duplex モードとなります。したがって、接続先機器が 100Mbps の Full duplex モードをサポートしていても Auto-negotiation機能をサポートしていない場合に最高速度（100Mbps Full duplex）を得るためには、「100 Full Mode」を選択する必要がありますのでご注意ください。
  接続先機器が Half duplex（半二重）のみに対応している場合、本製品を Full duplex（全二重）に設定すると、ネットワーク障害の原因となりますので避けてください。この場合は、接続先機器と同様に Half duplex に固定するか、「Auto Mode」を選択してください。

- 10 Full Mode

  10Mbps の Full duplex（全二重）モードに設定します。

- 10 Half Mode

  10Mbps の Half duplex（半二重）モードに設定します。

- 100 Full Mode

  100Mbps の Full duplex（全二重）モードに設定します。

- 100 Half Mode

  100Mbps の Half duplex（半二重）モードに設定します。

Network Address

デフォルトは「存在しない」です。この値は、デフォルト値のままお使い頂くことを推奨いたします。

Wake Up Frame

- Enable（デフォルト）

  パソコンがスタンバイモードの時、Ping などのパケットが届いたらパソコンのスタンバイモードが解除されます。

- Disable

  上記機能を無効にします。

3 ドライバーの更新

ドライバーの更新は、弊社のホームページ(http://www.corega.co.jp/)などから、本製品用の最新のドライバーを入手した場合に実行します。

注意

以下の手順を実行するには、Administrators グループ所属のユーザー名でログオンしてください。

1. 「コントロールパネル」→「システム」と進み、「ハードウェア」タブを選択し、「デバイス マネージャ」ボタンをクリックします。「ネットワークアダプタ」の「corega PCI-TXB Ethernet Adapter」をダブルクリックしてください（図 1.2-3 参照）。

2. 「ドライバ」タブをクリックし、「ドライバの更新」をクリックしてください。

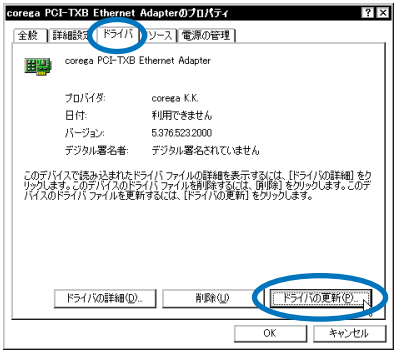

図 3-1 「ドライバの更新」ボタン

3. 「デバイスドライバのアップグレード ウィザード」が表示されます。以降は、「1.2 新規インストール」の手順 8. からと同じ手順になります。

4 ドライバーの再インストール

ドライバーの再インストールを行う場合は、ドライバーをいったん削除してから行います。ドライバーのインストールに失敗した場合も、間違ってインストールされたドライバーをまず削除してから再びインストール作業を行います。

注意

以下の手順を実行するには、Administrators グループ所属のユーザー名でログオンしてください。

1. 「6.1 本製品を認識しない」を参考にドライバーを削除してください。

2. 「1.2 新規インストール」の手順にしたがい、本製品のドライバーをインストールします。

5 本製品を一時的に使用しないとき

ドライバーのインストール後、一時的に本製品を使用しないとき、たとえば UTP ケーブルを本製品から外すような場合は、下記の手順にしたがって本製品のドライバーを無効にしてください。

注意

以下の手順を実行するには、Administrators グループ所属のユーザー名でログオンしてください。

1. 「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」の「システム」をダブルクリックしてください。

2. 「システムのプロパティ」で「ハードウェア」タブを選択し、「デバイスマネージャ」ボタンをクリックします。

3. 「ネットワークアダプタ」の下の「corega PCI-TXB Ethernet Adapter」を右クリック※1 し、メニューより「無効」をクリックしてください※2。

図 5-1 デバイスマネージャで無効を選択

4. 「はい」をクリックします。

図 5-2 「はい」をクリック

5. 「corega PCI-TXB Ethernet Adapter」のアイコンに「×」が付き、ドライバーが無効になります。

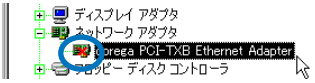

図 5-3 無効化されたデバイス

6. 再び、本製品を使用するときは、「corega PCI-TXB Ethernet Adapter」を右クリックし、メニューより「有効」をクリックしてください。

6 ドライバーのトラブル

6.1 本製品を認識しない

デバイス マネージャで、「corega PCI-TXB Ethernet Adapter」アイコンの表示が以下のようになっている場合は、ドライバーのインストールに失敗しています。

- 「ネットワークアダプタ」の項目がない
- 「その他のデバイス」や「不明なデバイス」の下に入ってしまった
- 本製品のアイコンに「！」「？」マークが付く

※1. 「マウス」の「右ボタン」を 1 回押す（クリックする）操作です。

※2. 「コントロールパネル」→「ネットワークとダイヤルアップ接続」の「ローカルエリア接続」アイコンを右クリックし、メニューより「無効にする」を選択しても同じ結果となります。

このようなときは、ドライバーを一旦削除し、再インストールを行います。以下の手順を実行してください。

注意

以下の手順を実行するには、Administrators グループ所属のユーザー名でログオンしてください。

1. 不正にインストールされた「corega PCI-TXB Ethernet Adapter」アイコンを右クリックし、メニューより「削除」をクリックします。

図 6.1-1 デバイスマネージャからの削除

2. 次のダイアログが表示されたら、「OK」をクリックします。

図 6.1-2 デバイス削除の確認

3. 「本製品のアイコンが消えていることを確認してください。

4. Windows 2000 を再起動（「スタート」→「シャットダウン」→「再起動」→「OK」）します。

5. 「1.2 新規インストール」の手順を参考にし、本製品のドライバーをインストールします。

注意

一度でも本製品のドライバーのインストールを行うと、ドライバーに関する情報がコンピュータに保存されます。そのため、ドライバーの削除を行った後の「ドライバーの新規インストール」手順では、一部のダイアログが表示されないことがありますが、表示される指示にしたがって操作してください。

6.2「近くのコンピュータ」が表示されない

「マイネットワーク」の「近くのコンピュータ」フォルダに他のコンピュータが表示されない場合は、コンピュータの識別情報（ネットワーク ID）が適切に設定されているかどうかを確認してください。

1. 「Administrator」権限でログオンしてください。

2. 「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」の「システム」をダブルクリックしてください。

3. 「ネットワーク ID」タブを選択し、「プロパティ」をクリックしてください。

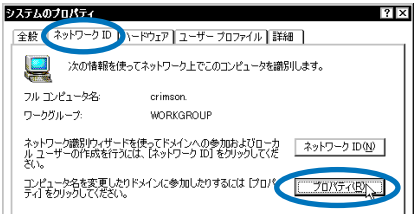

図 6.2-1 「ネットワーク ID」タブ

4. 「コンピュータ名」、「次のメンバ」が正しく設定されているか確認してください。

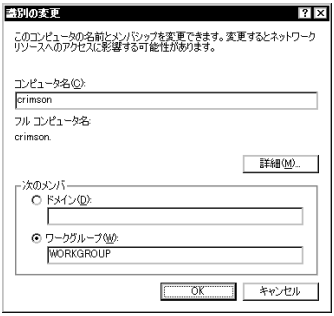

図 6.2-2 識別の変更

6.3 ご使用コンピュータの確認

ご使用コンピュータの OS が Windows 2000 のプリインストールタイプでない場合、(Windows3.1/95/98 からアップグレードされた場合など）は、ご使用のコンピュータ本体が Windows 2000 の plug & play 機能に対応していない可能性があります。「6 ドライバーのトラブル」や、取扱説明書＜Windows98 編＞の「6 ネットワークのトラブル」(p.45)」の手順で操作しても正常に動作しない場合は、ご使用コンピュータメーカーにお問い合せください。

6.4 その他

- TCP/IP アプリケーション（Web ブラウザー、FTP クライアント、Telnet クライアントなど）による通信ができない場合は、TCP/IP の設定が適切に行われていない可能性があります。取扱説明書＜Windows98 編＞の「5 ネットワークの設定」(p.33)」を参考にして、設定を確認してください。
  また、内部ネットワークのコンピュータとは通信できるが、外部のコンピュータとは通信できない場合、ご使用のネットワークにファイアウォールが設置されている可能性があります。プロキシサーバーの設定[※1]に関してシステム管理者におたずねください。

- 本書の指示にしたがって設定等を行おうとしたが、クリックするよう指示されているボタンが表示されない、あるいは灰色表示に

なっていて選択できないような場合、「Administrator」権限がないことが考えられます。Windows 2000 では、「Administrator」権限がないとシステム変更にかかわる作業を実行できません。このような場合はいったんログオフし 「Administrator」 権限で再ログオンしてください。

※ 1. Windows 2000 付属の Internet Explorer をご使用の場合、プロキシサーバーの設定は、「コントロールパネル」→「インターネットオプション」→「接続」タブ→「LAN の設定」で行うことができます。